

水と暮らす

私の住んでいる山田町には、「布目川」という川が流れています。また、山田はその名前の通り田んぼが多く、田植えの時期には布目川から水を引いて田んぼへ利用します。地域の農家の人は皆、この川とともに生活をしていきます。

私は小学生の頃、この布目川で行われた川の生き物を探す行事に参加したことがあります。そこでは、サワガニやヤゴ、川エビや小さな魚など、たくさん生き物が見つかりました。生き物の中には、「指標生物」というその生き物がいた土地の見当をつけることができる物があります。サワガニやエビがいるということ、布目川がきれいだということ、証拠です。そのため私は、山田の水はきれいだから良かった、と安心してしまっていました。

天理市立福住中学校 三年

宮浦 りん

しかし、それは私が布目川の美しい部分しか見ていなかったからかもしれません。

ある日、布目川沿いを通学中、川の端の方にゴミが引つ掛かっているのが目に入りました。よく見ると、それはあちらこちらにあります。布目川は美しい川だと思っていたのにとても残念でした。川を汚しているのは自然ではなく、人間です。だから、人間がどうかする必要があると思います。

また、祖母からこんな話を聞きました。「昔はな、水は全部井戸から汲み上げてんで泥が井戸にたまつて掃除もしなあかんかったから大変やったわ。だから今よりもっと水を大切にしてくれな。」

祖母の話の話を聞くと、確かにそういう不便な環境だと水を大切にしないといけないと意識付けられるなと思えました。実際、私も井戸

の泥を掃除する作業を手伝って、一回一回バケツに泥を入れては出しての繰り返しで、その大変さを実感しました。ですが、その大変な掃除のおかげで井戸の水はきれいなままで、今でもその井戸水を使い続けることが出来ています。

一方、山から直接引いている水の方は泥水になっってしまったています。祖母は、

「前はここからもきれいな水が出ててんけど、もう誰も掃除しに行かへんようになってしまったからなあ。」

と言っていました。やはり、自然の水をきれいに保とうと思ったら人の手が必要なのでと感じさせられました。

これは、井戸や山の水だけにいえることではなく、どんな自然にもいえることです。自然を汚してしまうのは人間ですが、きれいにすることができるのも人間です。自分がポイ捨てをしない、地域のクリーン作戦に参加する、どんなことでもいいので自然の美しさを保つ手助けをしてください。

私たちは普段、水があるから、水に助けられて生活をしているのです。そんな水を自分

たちが汚しているなんておかしいとは思いませんか。だから、水をきれいにする、水をきれいに保つ努力を私たちがしないといけないと思います。

私はいつも、多くの川の水、山の水と共に生活をしています。毎日お風呂に入ることが出来る、きれいな水を飲むことができる、それはたくさんの自然のおかげなんだと今、感じています。これからもそんな自然、水と共に生活をしていくには、きれいにしようと思う人間の力が必要です。

私たちが普段からそれを感じて、意識していくことによつて、水とお互いにもっと過ごしやすいより良い暮らしをしていけるのではないのでしょうか。